



会場アクセス

徳島市生涯福祉センター「ふれあい健康館」

〒770-8053 徳島市沖浜東2丁目16番地
TEL: 088-657-0190 FAX: 088-657-0189
http://fureken.com/

- 徳島市営バス（徳島駅前3番のりば）
「ふれあい健康館行き」 終点下車
- 徳島バス（徳島駅前5番のりば）
バイパス経由小松島方面行き「文理大西口」下車

バスについて詳しくは「とくしまバス Navi」をご覧ください。
(http://www.tokushima-tdm.jp/)

参加申込 方 法

下記の申込内容を、美馬市社会福祉協議会まで、FAX、Eメール、郵送でお知らせください。
なお、Eメールでお申し込みの際は件名に必ず「ケアする人のケアセミナー申込」と明記してください。
お申込みいただいた方には、後日、受講票をお送りします。

●お問い合わせ・お申し込み先

美馬市社会福祉協議会（佐和・井口） 〒779-3610 徳島県美馬市脇町大字脇町 1303-3
TEL: 0883-55-0211 FAX: 0883-53-6490 Eメール: mimashi-msk@tokushima-shakyo.jp

関連企画 ケアする人のケアセミナー in 広島

日 時：2011年11月25日(金) 10:20～15:30

基調講演：「変わる家族と介護」 春日キスヨ（松山大学人文学部社会学科教授）

対 談：「ケアの社会化」 木ノ元陽子（中国新聞論説委員）／播磨靖夫（財団法人たんぼぼの家理事長）

分 科 会：いのちとくらしの再建にむけて／からだで感じるコミュニケーションーダンスワークショップ／
食卓共同体ー食からうまれるコミュニティ／認知症の人と家族を支えるまちづくり／
映画上映「ただいま それぞれの居場所（監督：大宮浩一）」&アフタートーク

【お問い合わせ】（財）たんぼぼの家 TEL: 0742-43-7055 FAX: 0742-49-5501
E-mail: carecare@popo.or.jp http://popo.or.jp/

ケアする人のケア セミナー in 徳島 参加申込フォーム FAX 0883-53-6490

ふりがな		ご所属 (よろしければ、活動先・活動内容などをお書きください。特になければ記入不要です。)	
お名前			
ご住所 (□ご自宅/□勤務先等) ※受講票をお送りします。送付は10月下旬～11月上旬です。			
ご連絡先	TEL (□ご自宅/□勤務先等)	FAX (□ご自宅/□勤務先等)	
	Eメール (□ご自宅/□勤務先等)		
分科会の選択希望 (先着順となります)		第1希望 …… <input type="checkbox"/> 選択1 <input type="checkbox"/> 選択2 <input type="checkbox"/> 選択3 <input type="checkbox"/> 選択4 第2希望 …… <input type="checkbox"/> 選択1 <input type="checkbox"/> 選択2 <input type="checkbox"/> 選択3 <input type="checkbox"/> 選択4	
「食べて、語って、癒されて」		<input type="checkbox"/> 参加する (参加費800円※当日お支払いください) <input type="checkbox"/> 参加しない	交流会 <input type="checkbox"/> 参加する (参加費500円※当日お支払いください) <input type="checkbox"/> 参加しない

ご記入いただいた個人情報は、本セミナーの受付事務のみにおいて利用させていただきます。

ケアする人のケアセミナー in 徳島

心をつなぎ 地域をつなぐ

現代は人が人を求める時代だといわれています。高齢社会を迎え、医療と福祉の制度やサービスは徐々に整えられてきました。しかし、それだけでは人が生きることを支えきれません。とりわけ、生きることに直に関わるケアを必要とする人や、ケアをになう人が、社会的に孤立化し無力感におちいつていることが問題となっています。本当に安心して暮らしていくためには、地域で暮らす人々が、おたがいに助けあう関係や支えあう仕組みをつくる必要があります。

ケアとは本来、おたがいの存在を大切にしたい関わりあいを、幅広く意味する文化的な営みです。ケアするしんどさ、わずらわしさ、心の乱れなどもありますが、その一方で人間的に成長させてくれる、心を豊かにしてくれるものでもあります。そのようなケアの精神が人と人をつなぎ、いのちの尊厳を尊ぶ社会づくりにつながってゆくのではないのでしょうか。

このセミナーでは、さまざまな実践を学びあい、ケアに関わる家族や社会のあり方、地域での支えあいについて考えます。

日時 **2011年11月19日(土)**
10:20～15:30 (受付 10:00～)

会場 **徳島市生涯福祉センター「ふれあい健康館」**
(徳島市沖浜東2丁目16番地)

**参加費無料
要申し込み**

主 催 財団法人 住友生命社会福祉事業団、財団法人たんぼぼの家
実施主体 ケアする人のケアセミナー徳島実行委員会
協 力 医療法人 倚山会 田岡病院
後 援 徳島県、徳島市、徳島県社会福祉協議会、社団法人徳島新聞社、JRT 四国放送株式会社、ケーブルテレビ徳島株式会社

お問い合わせ・お申し込み先

美馬市社会福祉協議会 (佐和・井口)

〒779-3610 徳島県美馬市脇町大字脇町 1303-3
TEL: 0883-55-0211 FAX: 0883-53-6490
E-mail: mimashi-msk@tokushima-shakyo.jp

ケアに元気を、ケアに希望を
Carers Japan Broadcasting

ケアする人のための参加型
インターネット放送局

ケアラーズジャパン
http://care-jp.tv/



スマートフォン
でアクセス!

ケアする人のケアセミナー in 徳島

心をつなぎ 地域をつなぐ



プログラム



10:00 ~ 10:20

受付

[ホール入口]

10:20 ~ 10:30

開会あいさつ

[ホール]

10:30 ~ 10:40

オープニングアトラクション

徳島文理大学音楽療法コースの学生による演奏です。『和みの音楽』でスタートします。
【出演】：徳島文理大学音楽療法コースのみなさん

10:40 ~ 11:30

基調講演「いのちの在り方を考える」

いのちは本来、相互提供的なものです。生かし生かされる関係の中に、いのちは輝くのです。自然農の実践を通して人と人、人と自然、人と社会のいのちのつながりをつつめ、自他の存在をいつくしむいのちのあり方を考えます。

【講師】中井 弘和 (社会福祉法人「静岡いのちの電話」理事長、清沢塾主宰)
静岡大学名誉教授。一般社団法人「MOA自然農法文化事業団」技術顧問。「清沢塾」主宰。
自然農法を通して農業の可能性を追求するとともに、稲や人のいのちのありようを探る。

11:30 ~ 12:20

講演「ケアリング・ソサエティ」

ケアされる人がケアし、ケアする人がケアされる。強いものが一方的に助けるのではなく、相互的な関係性の中でケアは成り立っています。支えあいの地域づくりをめざし、ケアの文化を創造する視点を提案します。

【講師】播磨 靖夫 (財団法人たんぽぽの家理事長)
障害のある人たちの生きる場「たんぽぽの家」づくりを市民運動として展開し、アートと社会の新しい関係をつくる「エイブル・アート・ムーブメント」を提唱。「ケアする人のケア」の研究を通して、ケアの文化の創造に取り組む。平成 21 年度芸術選奨文部科学大臣賞 (芸術振興部門) 受賞。

12:20 ~ 13:30

休憩

「食べて、語って、癒されて」

徳島の自然米と海の幸を使ったお寿司をご用意します。バイオリンの演奏とともに、楽しいひと時をお過ごしください。
※参加費はお一人様 800 円です。ご希望の方はお申し込みの際に、ご予約ください。

13:30 ~ 15:30

**選択 1
体験
プログラム**

**選択 2
トーク
セッション**

**選択 3
トーク
セッション**

**選択 4
トーク
セッション**

15:30 ~ 16:30

分科会

[分科会は、ホール、第 1 会議室、第 2 会議室、第 4 会議室に分かれて行います]

からだで感じるコミュニケーションーダンスワークショップ [定員 20 名]

コミュニケーションは、言葉だけではありません。多くは身振り、ふるまい、しぐさを通して心を通わせているのです。言葉にならない感覚をダンスを通して体感する、そして伝え合うワークショップです。

【講師】佐久間 新

ジャワ舞踊家。伝統舞踊におけるからだのありようを探求する中から、ダンスの可能性を問い直している。2004 年より、障害のある人とのワークショップ、また特別養護老人ホームなどでもダンスワークショップを展開。

男性介護

妻の介護をする夫、母親の介護をする息子……。仕事や社会との関係のなかで、孤立しがちな男性介護の問題を取り上げます。男性介護の社会化のために何が必要なのか。これからますます増加する男性介護について語り合います。

【話し手】津止 正敏 (立命館大学産業社会学部教授、男性介護ネット事務局長)
大下 直樹 (認知症の人と家族の会徳島県支部代表世話人)
他 1 名

食卓共同体 — 食からうまれるコミュニティ

近年、一家団らんの習慣が少なくなり、家族が個別に食事をする「個食」の人口が増え、食を通じて人と人がつながることの大切さが見直されています。個食の実情も交え、食を通して地域のつながりを支える実践について語りあいます。

【話し手】田野 道子 (NPO 法人あるでないで徳島理事)
山口 浩志 (NPO 法人どりーまっサーブیس理事長)
家令 牧 (たんぽぽ楽食サーブیسディレクター)

【コーディネータ】古川 明美 (徳島文理大学保健福祉学部人間福祉学科准教授)

震災といのちの世話

東日本大震災で被災し、現場からツイッターで詩篇「詩の礫」を発表し続け注目を浴びた、和合亮一氏の詩集「詩ノ黙礼」の朗読と共に、ボランティアとして被災地に向かった人々と、厳しい状況のもとでの、いのちの世話 (ケア) について考えます。

【話し手】佐和 良佳 (社会福祉法人美馬市社会福祉協議会事務局長)
前野 洋子 (社会福祉法人海陽町社会福祉協議会地域福祉課長)
岩城 貞時 (社会福祉法人三好市社会福祉協議会総務課長)
森本しげみ (精神保健福祉士)

交流会 (希望者のみ・参加費 500 円)

お茶、ジュース、軽食をご用意しています。セミナーの感想や情報交換など自由に語らう場ですので、お気軽にご参加ください。

※諸事情により、プログラムの一部を変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。